



松第 127 号
平成19年5月25日

国土交通省道路局長 殿

松田町長 島村俊介



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について(回答)

平成19年4月2日 国道企第114号付けで、依頼のありました標記について、別紙のとおり回答いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

神奈川県西北部に位置する松田町は、東名高速道路のほか、国道2路線、県道5路線が町内を縦横に貫通しており、市街地内の基盤整備を推進するための都市計画道路網の確立が求められています。また、既決定の第二東名高速道路に関連する国道246号バイパスの延伸等についても、交通渋滞緩和のため、整備計画の策定・具体化が望まれております。

一方、町道を中心とした生活道路については、線形や幅員、舗装等を整備する問題が、山積しております。特に一部の町道は幅員が狭いことから、今後、計画的な道路改良を行っていく必要がありますが、用地の取得、財源の確保など道路行政の推進には諸々の課題と悩みを抱えているのが現状であります。

こうした状況にもかかわらず、道路特定財源の見直しが具体化しつつあり、道路行政を担う私ども自治体としても、今後の施策・事業の先行きが不透明に感じられ、不安を禁じ得ないところです。国におかれましては、地域の活性化・発展を担う自治体の切迫した現状を御配意いただき、計画作成において何卒、特段のご配慮を賜りたくお願い申し上げます。

重点化を進める上で特に優先度の高い政策に関する意見

○地域間幹線道路整備(国道246号バイパス延伸)について

現東名高速道路は、足柄平野を東西に横断し首都圏と中部・関西圏を結ぶ主要交通幹線となっており、観光や産業経済活動の根幹を担う極めて重要な基軸道路であると共に、地域全体の活性化・発展には必要欠くべからざる骨格路線となっております。

また、国道246号においては、東京から御殿場方面に至る幹線道路であり、東名高速道路が災害等により遮断された場合には御殿場までの迂回路としても利用されております。しかしながら、秦野以西の国道246号は、当地域から秦野市へ通じる唯一の幹線道路にもかかわらず、交通量は極めて多く慢性的な交通渋滞を招いており、都市間交通の迅速化や広域的な利便性に大きな支障を起こしているのが実情です。このような状況を踏まえ、国道246号については、広域的・地域的交通の役割を担う路線として厚木市から秦野市に至る国道246号バイパスの建設事業の促進及び秦野以西の複線化の検討も含め、抜本的な対策を強く要望いたします。また、第二東名自動車道秦野西インターチェンジ(仮称)から、大井松田インターチェンジまでの区間においては、新たに南北の主要交通軸と位置づけ、秦野西インターチェンジ(仮称)以西の円滑な交通確保と足柄地域の有効な土地利用を図るため、早急に連絡道路計画を確立し具体化すると共に町民の安全な通行を図る交通安全施設整備事業等の国庫補助事業に対しても財源確保を始めとしたより一層の国のご支援を要望いたします。

なお、国庫補助のメニューについては、比較的弾力的な取扱いが可能となっている事業もありますが、国予算や事業数の多寡によって採択されず、事業が縮小されたり、実施が不可能となったりするなど、地域のニーズに即した事業の拡充や新しい事業への取り組みができにくい状況にありますことから、道路整備上の計画的な遂行を図るため特段のご配慮をいただきたく意見として申し述べます。

道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

○地震防災対策の充実強化について

東名高速道路完成時に旧日本道路公団から移管された跨道橋は、管理者である町が耐震補強対策事業を実施することとなっております。しかしながら、事業の実施に当たっては、財政状況が極めて厳しい当町において、その財源の確保が可能か危惧しているところであります。ついては、国からの交付金による緊急地方道路整備事業のみではなく、原因者である国や高速道路株式会社において、その費用を負担する制度を創設していただきたく意見として申し述べます。